

静岡縣史料

縣治紀事調査材料一

十五

庫	文	閣	内
函	三五冊	五九〇一七號	和書
架			



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり  
綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり



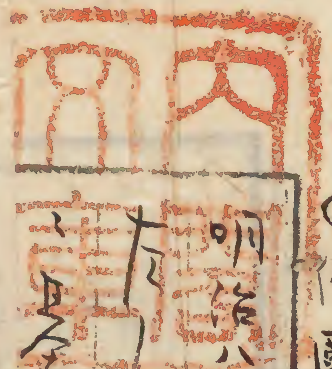
縣治紀事本末調材料

一



明治二十九年三月

○補國郵便二一號江波一何



明治二十九年三月五日  
如し  
是

縣治能事本末甚多

調材料

未詳

未詳

未詳

馬力不詳

橋敷之本

隔間半全

長四十九間全

噸數不詳

商船 二一號

船會社



明治三十四年

○佛國郵便二一號 佛國郵便二一號 佛國郵便二一號

明治三十四年二月廿五日 佛國郵便二一號 取調書  
如し 佛國郵便二一號 佛國郵便二一號 佛國郵便二一號



法朝西馬耳塞港

持主 郵船會社

船長 サマト

外八十九人 未詳

木 製 衣 不詳

高船 二一號  
長四十九間余 隔間半余 檣數三本

噸數 不詳 馬力 不詳

解州



船難一時

明治七年二月廿日

船難一由

航海中三州入間浦中

船破一厚由

船風一厚、暗礁、觸レ

船破一厚由

皆没

乗組人及船客死傷

助命四人、死七十九人、  
行傷不知者凡五十七人

積荷ノ損否

洋燭一箱及物三十七箱其他沉没

足柄嶽

町司信太郎、三月廿日、其船一、向國海、行、於、

「マサヒノリ」船會社、「ニール」船難破

致、其船、其船、注、意、行、舟、也、積、中、屬、所、用

中、龍、美、也、船、取、扱、向、全、力、致、一、報、謝、云、云

船、中、會、社、支、配、人、の、報、謝、ト、シ、テ、金、銀、一、

シ、ロ、メ、一、ト、時、計、を、同、人、に、送、り、贈、金、

の、事、を、知、り、紙、に、申、渡、す、則、ち、

國、中、の、各、報、に、一、條、を、送、り、下、渡、す、

申、渡、す、條、を、取、計、日、入、傳、書、に、送、り、云、云

條、目、係







御渡口或下森松、於予奉希望、俟恐惶

May 120

御渡口或下森松

不願失礼、右岸より、奉申す、右、平也、

思、難船、之、事、事、國、地、右、岸、於、陳、事、

救、助、之、事、に、申、上、り、申、上、り、申、上、り、申、上、り、

申、上、り、申、上、り、申、上、り、申、上、り、申、上、り、

申、上、り、申、上、り、申、上、り、申、上、り、申、上、り、

申、上、り、申、上、り、申、上、り、申、上、り、申、上、り、

申、上、り、申、上、り、申、上、り、申、上、り、申、上、り、

申、上、り、申、上、り、申、上、り、申、上、り、申、上、り、

申、上、り、申、上、り、申、上、り、申、上、り、申、上、り、

〇八月二日、御國郵船會社、及び、時計相、候、御旨、  
下、一、書、し

御國郵船會社、及び、時計相、候、御旨、

御國郵船會社、及び、時計相、候、御旨、

御國郵船會社、及び、時計相、候、御旨、

御國郵船會社、及び、時計相、候、御旨、

御國郵船會社、及び、時計相、候、御旨、

御國郵船會社、及び、時計相、候、御旨、

御國郵船會社、及び、時計相、候、御旨、

御國郵船會社、及び、時計相、候、御旨、











○ 此の間に於て 宿野に於て 米國の 贈品を 受けたる 事あり

此の間に於て 宿野に於て 米國の 贈品を 受けたる 事あり 又此の間に 郵船に 乗るに 由り 旅客 英人 及び 氏を 訪ふ 事あり 同國 商人 及び 氏を 訪ふ 事あり 此の間に 宿野に 於て 米國の 贈品を 受けたる 事あり 又此の間に 郵船に 乗るに 由り 旅客 英人 及び 氏を 訪ふ 事あり 同國 商人 及び 氏を 訪ふ 事あり 此の間に 宿野に 於て 米國の 贈品を 受けたる 事あり

此の間に於て 宿野に於て 米國の 贈品を 受けたる 事あり

外務省 事務 局長 殿

此の間に於て 宿野に於て 米國の 贈品を 受けたる 事あり

○ 此の間に於て 宿野に於て 米國の 贈品を 受けたる 事あり

此の間に於て 宿野に於て 米國の 贈品を 受けたる 事あり 又此の間に 郵船に 乗るに 由り 旅客 英人 及び 氏を 訪ふ 事あり 同國 商人 及び 氏を 訪ふ 事あり 此の間に 宿野に 於て 米國の 贈品を 受けたる 事あり







諸州縣

杉本總藏殿

*[Faint handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side]*

○*and* *Memorandum* 内村の海國の紀念標建案の申付

に *Shimoda* の *Memorandum* 別紙圖面を紀念標建案

に及ぼす海國郵船の船名に關する埋葬の

後右内村海國の別紙圖面を紀念標建案

とし今般海軍者も佛人のルビエー氏に

火山一灰検査の爲に東海沿岸通下内

近傍の長き有る忙持の相越の内

村の仲出の事と關申付圖の隣村を長村

ニル船積荷の揚方と入角の事と關

諸縣の官員内村の派上中仕

諸州縣



明治六年二月

外務部

外務部事務司

内務部

○大正六年三月五日

大藏省

明治七年三月五日

郵船ニハ積込品ヲ揚子江横濱

運送スル節同行税額

別々ニ納付スル税揚子江許此等相

事此

○六年九月紳多野野間合

佛國郵船ニハ引渡ノ場所

柙ヲ切取置クナレバ細切

出テ佛國博覧會ノ務司

委託人ニ事荷ニ代テ相裁

トスル氏ノ存品ヲ引渡

問合不旨事急事答有

事懇合事急事積荷引揚

事下員ニ本月中旬佛人

事行地也此



神戶市  
神戶市  
神戶市

右者一同七代中川渡之存之申度左傳各一節  
佛入の掛後之博覧會の申度左傳各一節  
川渡之存一七代中川渡之存之申度左傳各一節  
右者一同七代中川渡之存之申度左傳各一節

明治九年九月廿一日

神戶市  
神戶市

神戶市  
神戶市

明治九年九月廿一日  
神戶市  
神戶市

伊豆國  
伊豆國

齊女勝博一郎

佛國二一七号船荷物引揚方之候下子未

格別御祈儀之旨申上候旨可賜

明治八年九月廿一日

内務省

一令之於因神戶市  
一令之於因神戶市

一令之於因神戶市  
一令之於因神戶市

神戶市



一全貳拾四

一榮四年五月

佛國二一七号船荷物引揚方ハ後略

奉格別可所係子乃子高下略

明治八年九月廿一日

内務省

妻良村副官長

一全貳拾四

杉小何有

日村百姓惣代

一全五四

飯作五郎有

日村農

一全七四

清田大藏

日村農

一全七四

飯田庄兵衛

日村農

一全五四

飯作定八

日村定使

村田仁吉

佛國二一七号船荷物引揚方ハ後格別

可所係子乃子高下略

明治八年九月廿一日



青森県

内務省

大間村

佛國ニルル船荷物引揚言ノ係格別  
部共印心カモシ合々下知

今ハ...

内務省

今ナ...

今ナ...

今ナ...

ニル船圖解 長九千ハメートル  
第一甲板

イ 船將ノ室

ロ 上等客室ノ下リ口

ハ 機械所ノ格子窓

ニ 厨

ホ 悪水ノ抜キ口

ハ 支那人火夫及水便ノ室下リ口

ト 蒸気罐ノ格子欄

チ 雜務局



靜  
岡  
縣  
船  
渠

リ 轉舵室

ヌ 士官ノ倉室

ヒ 荷倉口ノ庫

ヲ 配食局下リ口

ロ 水夫長室

カ 武器長室

ヨ 配食局

タ 鹹水桶

シ 水夫室

ソ 食用物ノ貯器

ツ 帆具置所下リ口

子 雨衣ノ戸棚

十 屠牛所

第二甲板

前部

イ 三等客室下リ口

ロ 男室

ハ 女室

ニ 婦人大便所

ホ 三等船客倉室

静  
岡  
縣  
船  
渠



ハ 小使室

ト 火夫室

チ 前部ノ口罩

リ 配食局下リ口

ヌ 配食局

ル 酒樽置場ノ口

ヲ 帆具置場

ロ 同下リ口

カ 網具置場ノ口

中部

イ 二等船客室

ロ 食卓

ハ 食用器ノ戸棚

ニ 便所

ホ 女室

ヘ 出入客室

ト 機械所ノ物置

チ エヌノ口罩

リ 一等客室

ヌ 一等客室



青  
州  
縣

ニ 機械所ノ工場及戸棚

ヲ 明リ取リ

カ ニ等ノリムルトナル室

ヨ 小使長及厨人室

ク 士官ノ便所

レ 士官ノ下リ口

ソ 機械所ノ格子窓

ツ 支那人火夫及小使ノ下リ口

子 一等機械官室

子 二等機械官室

ナ 機械官試補室

ニ 機械所下リ口

ム 三等機械官室

ウ 一等火夫室

ホ 火燒所ノ格子窓

ノ 船室間通路ノ風入

ハ 支那人火夫及小使ノ下リ口

ケ 旅床

コ 火燒所ノ風入

カ 前部ノ石炭置場

青  
州  
縣



静海  
同知  
縣志

- ケ 前中部ノ口
- フ 貨物置場ノ口
- コ 士官用ノ戸棚
- ク 後部ノ口
- イ 上等船客ノ會室
- ロ 百音琴
- ハ 長椅子
- ニ 暖炉
- ホ 小ア 許置場下リ口
- ヘ 食卓

- ト 食用器
- チ 後部ノ戸棚
- リ 書架
- ヌ 會計官室
- ル 醫師室
- ヲ 二人入り客室
- ワ 四人入り客室
- カ 郵便事務官
- ク 上等船客下リ口
- キ 婦人會室

静海  
同知  
縣志



青洲  
船  
具

レ 粧客

ソ 婦人便所

ツ 浴室

子 船客浴室

十 大便所

ラ 小便所

ム 上等一局

ウ 氷室下口

井 後部荷倉ノ口

ノ 後中部物置ノ口

大 淡水桶

ク 船將ノ衣櫃

荷倉之方

後部荷倉

五百四メートル

後部物置

九十メートル

前部荷倉

三百六十一メートル

前部物置

二百五十九メートル

同

二百五十三メートル

又千四百九十六メートル之方

石炭置場

青洲  
船  
具







静州縣

一 銀百貳拾ハトル

一 銀鍵

五百四

一 磁石子百拾五内

減金四百拾五  
銀九百七拾

一 ナスリ

百拾五

一 鉄ワニ

拾貳

一 木指輪

七

一 金側袂時計

九拾五

一 銀側袂時計

四百拾八

一 金指輪

貳拾五

一 時計用金鎖

七

一 槍廻し

拾貳

一 鉄子

四拾五

一 鉄日盛

七

一 銀カレザシ

三本

一 時斗用油四箱

但売箱拾貳入

一 コヒ一茶椀

五

一 同

六

一 陶器類

五

一 同

拾五

静州縣



静  
州  
縣

一 陶類 洪鉢

一 マルニス石細工物 其外入 壹箱

一 西洋陶器 人形 異物 入 壹箱

一 硝子板

一 硝子板 拾枚

一 硝子コップ 百九入 申箱 拾枚 但打屋 儀助 自用品ノ由

一 硝子器 四拾八 外木 壹式

一 キヤノシ 德利 壹

一 硝子板 七枚 入 壹箱

一 藥種 びし 拾九 小入 壹箱

一 藥ナシ 四

一 硝子 貳

一 小銃 拾枚

一 鳥銃 拾枚

一 ヒストル 貳枚

一 胴丸 貳

一 振柄 彈 壹

一 破裂 彈 貳

一 散 彈 壹包

静  
州  
縣



備前  
備後  
備前

一 吳口類千二百九拾八反 外端切少レ

一 令巾類千九百五拾貳反

一 唐伎類五百反

一 羅紗類五拾卷半

一 毛縹子百五拾反

一 大羅紗拾六卷半

一 唐系千四拾四拾九把

一 織物類數種入 壹箱

一 本紅明二重 貳反

一 結袷 壹枚

一 帆布 貳卷

一 生糸類四箱外 三線

一 手拭並縁入 壹箱

一 霜降羅紗夏上暑壹枚

一 羅紗洋服 六

一 吳呂洋服 壹

一 ツボレ 品柄各 九ツ

一 シシテル 金上 八ツ

一 千日ワキ 金上 三ツ

一 大破敷物 貳枚

備前  
備後  
備前



鐵器  
鐵器  
鐵器

一 洋人衣服其外自用者壹箱

一 洋人衣服書籍等入 壹箱

一 檣用燈籠 壹

一 帆網 壹所

一 船具用網 壹小

一 船道具鐵物 九

一 縫器械入 壹箱

一 捻狹器械 壹

一 縫器械其鐵板 壹

一 測量器械入箱 壹個

一 鐵器械其四品入箱壹個

一 鐵製衣機械 五

一 鐵製蠟燭製造器械之由 但七陸島自用品之類

一 鐵棒 四本

一 鐵格子八枚入 壹箱

一 格子鐵棒 貳小

一 鐵水注 壹

一 鐵格子 壹連

一 地鉄標之品入 壹箱

一 鉄角器 壹

洋  
州  
係



青銅  
銅  
鐵

一 鐵輪 壹

一 鐵制衣山板 壹

一 渦線鉄 壹

一 西洋鉄鍋 拾

一 鉄道線 貳拾

一 鉄下力 八

一 輪船今之骨是輪船其外共六箱  
外月以骨是輪船仕白骨共四十五箱

一 鉄物 損品 三

一 鉄切 貳

一 銅格子 壹

一 銅之管 壹

一 銅製水流し 壹

一 銅薄板 壹枚

一 銅之棒 壹本

一 線銅網 壹筋

一 銅之管 壹本

一 白銅之管 壹

一 白銅之形 壹

一 白銅湯籠 壹

一 銅燭台 壹

銅  
銅  
鉄



請  
購  
賜

一 鎮銜卷張全 貳本

一 鎮銜張全 貳

一 鎮銜製搭子 壹枚

一 日蟬燭建 貳枚

一 燭臺 壹

一 槍カニ十 壹

一 蠟燭建 貳枚

一 五月幟雛形入 中箱壹個

一 燭槍本入燭葉入小全壹  
陶器數種入中箱 壹個

一 及物帛并細工物其外全箱壹個

一 農業學校用品木之櫃  
貯茶物之雛形入大箱 壹個

一 西洋形秤入十箱 壹

一 漆草標之者入 壹箱

一 機織器械入 壹箱

一 鑛石并化石類入箱四ツ

一 西洋書籍日紙類收袋若干  
但冊紙數等不分明 壹

一 ニヤッお題 六拾九

一 西洋蠟燭 七百八拾五枚

一 草羊提内 水筒是回刷毛 壹  
刺刀壹回 磁器銅錢七枚

解  
別  
係



青  
山  
縣  
界  
關  
口

一 草  
一 草

一 草  
一 草

一 葡萄酒  
一 草

一 草  
一 草

一 西洋栗入  
一 草

一 西洋馬具類入  
一 草

一 井戸用おしぼり  
一 草

一 長靴  
一 草

一 石筆繪之具  
一 草

一 ブリキ茶壺  
一 草

一 笠  
一 草

一 晴雨計  
一 草

一 草  
一 草

一 アコペ  
一 草

一 石筆入  
一 草

一 伸入  
一 草

一 木丸太  
一 草

一 小便壺  
一 草

一 銘之如キ物少  
一 草

静  
州  
縣



青  
銅  
器  
類  
目  
録

一 經三寸五分位水晶玉 貳個

一 銀茶碗 貳個

一 右二属之茶櫃 貳個

一 陶古代鬼 貳個

一 銀之全貳之内 貳個

一 銀之器 貳個

一 寫真繪 拾四枚程

一 銀骨子上下板 貳

×八口 貳個

一 地球儀 貳

一 地球儀 貳

一 小箱入桃色草花模様 貳

一 丸木之具本 貳

一 海國圖 貳本

一 窓紙 貳

一 細類釣竿十類入十箱 貳

×七口 貳個

一 繪具其貳組内 貳個

一 銀古川代生銀大者 貳

靜  
州  
縣



書  
冊  
類  
目

一 時繪科紙硯箱 壹組

一 時繪西洋形針箱 大破 壹

一 神樂殿形所屬品 共 壹式

一 糸貝木 各種

× 八口 壹個 ×

一 小箱入敷龜甲小籠 貳

一 同ろろろ 貳

一 同卷烟草建高天鼓形硯箱 貳  
但西品共時繪品

× 八口 壹個 ×

一 調子箱 壹

一 之ろろ 壹

一 班比巴 貳

一 半太刀 壹

一 脇差 壹

一 時繪手箱 壹

一 小班今 貳

一 此系縮縮純子茶具外所品 共

× 八口 壹個 ×

一 振時計其外拾三箱入 壹個

解州縣



青銅  
銅  
銀

一 鉛 八拾本

一 銅 吹丸板 壹

一 鉛丸形 八

一 鑛石類品之 壹

一 石類品之 壹

一 石線入小箱 貳

一 木化石入小箱 壹

一 損之瓶貳入小箱 壹

一 鑛石入小箱 壹

一 曲鉛入小箱 壹

一 鐵製器械 壹

一 木製器械 壹

一 砥石 貳

一 八口志個入

一 陶器 三ツ大硝子板 壹

一 繪之具 麥草景細工 本全箱 壹

一 鐵燭 壹貳入小箱 壹

一 縫器械 入小箱 壹

一 縫器械 中入小箱 壹

一 同大十貳入小箱 壹

靜州縣



蓄積  
備用  
現解

一回の道具等入十箱 壹

一回の備品入十箱 壹

×ハ口等個々

一 書海コソフ 壹

一 櫛物壹 壹

一 陶花生 壹

一 杖 貳本

一 写真繪若干 數不分明

一 鉄小道具入十箱 壹

一 ケツト 壹

一 洋服 壹組

一 シヤツ 壹

一 日本羽着 壹

一 ×拾口等個々

一 禮服入十箱 包竹内自用品

一 獨樂 五ツ

一 紙入 壹

一 草子袋 壹

一 赤黒之鷹 壹

静岡縣



×月口亦個入

縫器械

十箇

細工玉

十箇

鍋

十箇

うしほ

十箇

小口

十箇

水卜

十箇

線糸

十箇

×大口亦個入但藤山白用品

合器器械

十箇

金時繪書棚入

壹箱

藥種入

壹箱

×藥種并小道具入

壹箱

×下振時計入三箱内壹箱扇壹小入

×手袋縫器械并扇壹箱

太刀差刀共

拾小

一 脚差尺

三小

一 尺

四小

一 筆

貳小

糸州絲

書納箱  
同納箱  
同納箱



×口 吉個入

一硝子井

壹

一 日鏡

壹

一 象牙細工十箱

壹

一 散尾甲四

壹

一 大蓋 品柄不台

貳

一 水晶玉明箱

壹

一 水晶玉明箱 其生

壹

一 頼心湯之巻物

壹

一 硝子蒔繪十花生

壹

一 下ヶ緒

五

一 銀之細工花

三

一 藤細工手杖杖玉入塗箱

×拾之口 吉個入

礼服のり  
藤細工入直

三拾五口大竹箱吉箇入

一 藍硝子廿四ッ入 吉箱

一 陶器品々入 吉箱

一 硝子器十鉄物入 吉箱

一 硝子器拾入 吉箱

一 鉄十器拾入 七箱

争 周 系

書 籍 部  
文 書 部  
調 査 部



青銅  
銅  
具

一 漆器 壹足

一 漆器 拾足

一 おしぼ桶 外柳灯まき桶しす

一 八口漆個々

一 コシ紙 四束

一 シヤボシ 拾六箱

一 寫紙 壹束

一 紅紙 壹束

一 半紙封糊 壹把

一 五口漆個々

一 房台織物 三拾貳

一 麥草果細工編物入中箱 壹

一 吳呂切百七拾四内八分破損取捨

一 雙六盤漆屬品入箱三内貳拾取捨

一 字真繪卷物 壹

一 學校用懸物 數枚

一 西洋書箱 貳冊

一 七口漆個々

一 生么小入小箱 六個

一 大中編細入大箱 六個

一 大巾編細入大箱 六個

浄司系



青  
白  
果

一白縮緬 拾六反

一本紅羽二重 拾六反

×貳口壹個入

一白紫黄七子三卷又十箱 拾六反

一箱系色男羽又貳拾貳口十箱 拾六反

一入全絲小箱 貳個

一真絲又十箱 貳

生糸又三  
十箱又三八口大箱壹個入

一縮緬 拾六反

一黑色織物 拾六反

×貳口壹個入

一水塗鍋 拾六反

一硝子掣洗 拾六反

一御召縮緬單物 拾六反

一西洋丰杖 貳

一秩父切 拾六反

一八丈綺線入 拾六反

一鎮銜物度 拾六反

一紅羽織 拾六反

淨  
因  
係



青  
白  
黒

一 八丈縞袴 壹

一 秩父絹下着袴 壹

一 御白縮緬<sup>縮</sup>入 壹

一 貳<sup>ノ</sup>藤巴紋<sup>ノ</sup>羽織 壹

一 鎗鍬鍋 壹

一 紗羽織 壹

一 厚板女帯地 壹

一 紺熨斗目 壹

一 黒木綿縮半物 壹

一 御白縮緬羽織 壹

一 旗袴丸四 壹  
マロヤヌスホ  
二

一 縮緬<sup>ノ</sup>綿入 壹

一 メリヤヌ<sup>ノ</sup>コレ<sup>ノ</sup> 壹

一 八丈縞半纏 壹

一 琥珀縞袴 壹

一 博多男帯 壹

一 秩父絹十紋半纏 壹

一 風織縮緬半物 壹

一 真綿胴着 壹

一 錫水着 壹

一 唐上麻<sup>ノ</sup>切<sup>ノ</sup> 壹

一 唐上麻<sup>ノ</sup>切<sup>ノ</sup> 壹

淨  
嗣  
孫



青  
白  
黒

一 フリツキ小箱内 子目三内貳ノ大破取捨  
コシテルニヌカレ

メニ拾壹口 壹個メ

一 縞琥珀 貳拾七卷

一 綾織 壹卷

一 海氣 壹反

一 黒琥珀 貳反

一 中中巻物 壹卷

一 房白織物 三拾壹

一 打細 百七拾本

一 茶本國織地 壹

メ八口 壹個メ

合口頭書三百七口

是ハ御者官者<sup>真</sup>ノ長横濱表<sup>ニ</sup>相廻<sup>リ</sup>俵分

一 壘 四百六拾本

是ハ侍者官員出張事良村於<sup>テ</sup>馬拵相成<sup>ル</sup>分

一 大破蝙蝠傘 壹大十

一 練化石 三ッ

一 角杖 壹本

一 長笛 半足

一 木角物 貳本

糸  
系



青  
田  
具

一板

八枚

一竹籠

一籠

一草笥の錠竹青糸の板一枚

一陶器の便器

一臺

一陶器の盥盆

一臺

一破瓶

一臺

一靴刷毛

一臺

一石筆

一臺

一キヤル燻物

一臺

一水流しの漏斗

一臺

一西洋酒の合瓶

貳拾瓶

一外包

貳枚

一空箱

一臺

一破腰掛

一臺

一船中用の網切

一火茶桶と品入箱

一臺

一硝子コップ

一臺

一箱

一臺

一手拵之籠形入りの箱貳ツ

一長九尺丸太

一臺

系  
目  
系



静岡縣

一 磁子

十

一 地球圖

十

一 格子

十

一 鉄柄白鍋

十

合頭書同貳拾九口

是二大破或二箇敷其格是有官印出展之場所  
於之取捨相成候分

為心計頭書同百拾七口

右者高田縣下川列賀茂郡入間村地也此於  
於十一年一月及河邊候御國郵船ニ

積可引揚之御者同天草水練之者

御印圖繪之御者同天草水練之者

氏之會相成之御者同天草水練之者

御國繪圖會事候御者同天草水練之者

御國繪圖會事候御者同天草水練之者

御國繪圖會事候御者同天草水練之者

御國繪圖會事候御者同天草水練之者

御國繪圖會事候御者同天草水練之者

御國繪圖會事候御者同天草水練之者

御國繪圖會事候御者同天草水練之者



靜岡縣

内務卿大久保利通殿

（Faint handwritten text, likely a letter or official document, mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side. Some characters like '静岡縣' are visible at the top right of the page.)

在横濱  
佛國領事代理

フロニエール氏

右者明治七年甲戌之月申足柄縣下里列坐  
郡又間村地先之於及河邊、佛國郵便ニ  
此号荷物引揚方之會、乃横濱、之里列  
妻之村道陸地通行之候間、係条件、  
此助無故障相通、可申、  
明治九年二月廿七。 外務省

争司系















反別寺町七及九段下  
廿四日柳堤石砂入同寺ヨリ  
同十二年正月五日寺ヨリ

此減米五斗七升五合

反別寺町七及九段拾下五層  
廿四日石砂入同寺ヨリ  
同十二年正月五日寺ヨリ

此減米五斗八升八合

反別寺町七及九段拾下  
廿四日石砂入同寺ヨリ

此減米五斗八升五合

畑反別寺町七及九段拾下  
明治八年使久川名柳堤  
石砂入引

此減米五斗七升四合

外米五斗七升四合  
明治八年使久川名柳堤  
石砂入引

由

反別寺町七及九段下  
一〇二二

此減米五斗七升五合  
明治八年使久川名柳堤  
石砂入引

外米五斗七升五合  
明治八年使久川名柳堤  
石砂入引

反別寺町七及九段下  
明治八年使久川名柳堤  
石砂入引

此減米五斗七升五合

外米五斗七升五合

反別寺町七及八段下  
廿四日石砂入同寺ヨリ  
同十二年正月五日寺ヨリ

此減米五斗七升五合

外米五斗七升五合  
廿四日

反別寺町七及八段拾下  
廿四日石砂入同寺ヨリ



外 不 計 斗 貳 斗 五 合

表作取入後之損地斗五合  
明治九年引方下相成分

外

大 繩 田 及 別 七 斗 貳 拾 四 斗

明治八年川久押堀石  
砂入引

此 減 米 貳 斗 七 升 五 合

内

及 別 七 斗 拾 四 斗

明治八年川久同年より同十七年  
迄拾五斗五合引

及 別 貳 斗 一

本日は押堀石砂入同  
日十二斗五合引

此 減 米 六 升

及 別 七 斗 一

右日は石砂入同  
日十二斗五合引

此 減 米 貳 斗 七 升 五 合

右者 靜岡縣 濱田郡 川津堤敷ノ所

〇〇同十〇日之大雨洪水ニシテ川津堤敷ノ所

切入田畑損地斗米一斗計也

出檢米斗之上取調、如右ノ如シ損地出

米中、依之得届申上

明治八年十月

足柄縣令 松本忠俊

内 務 卿 大 久 保 利 通 殿

大 藏 卿 大 隈 重 信 殿















1000... 中... 於...

是若何... 積... 後... 仲... 合... 達... 取... 風... 波... 冷... 一... 色... 去... 年... 全... 年... 美... 積... 年... 多... 色... 名... 始... 積... 者... 劍... 於... 元... 積... 乃... 凌... 也... 大... 者... 三... 子... 浦... 之... 書...

1000... 積... 乃... 凌... 也... 大... 者... 三... 子... 浦... 之... 書... 積... 乃... 凌... 也... 大... 者... 三... 子... 浦... 之... 書...

1000... 大村... 竹... 次... 郎... 大村竹次郎

是若何... 積... 乃... 凌... 也... 大... 者... 三... 子... 浦... 之... 書... 積... 乃... 凌... 也... 大... 者... 三... 子... 浦... 之... 書...

積... 乃... 凌... 也... 大... 者... 三... 子... 浦... 之... 書...

1000... 四... 島... 之... 傳... 四島之傳

是若何... 積... 乃... 凌... 也... 大... 者... 三... 子... 浦... 之... 書... 積... 乃... 凌... 也... 大... 者... 三... 子... 浦... 之... 書...

1000... 積... 乃... 凌... 也... 大... 者... 三... 子... 浦... 之... 書... 積... 乃... 凌... 也... 大... 者... 三... 子... 浦... 之... 書...

1000... 木... 林... 五... 郎... 五郎

是若何... 積... 乃... 凌... 也... 大... 者... 三... 子... 浦... 之... 書... 積... 乃... 凌... 也... 大... 者... 三... 子... 浦... 之... 書...

積... 乃... 凌... 也... 大... 者... 三... 子... 浦... 之... 書...

積... 乃... 凌... 也... 大... 者... 三... 子... 浦... 之... 書...







青田縣

一 日可部入津

少榮徳之郎

水之松考人東

一。積所去積進可抄傳仲之於之途詔風波積荷在在  
若難在後同月十日...

同部...

上之...

仲船...

一 日可部入津

水之松考人東

一。積所去積進可抄傳仲之於之途詔風波積荷在在  
若難在後同月十日...

同部...

上之...

仲船...

信見多古...

水之松考人東

十一月十日積所去積進可抄傳仲之於之途詔風波積荷在在  
若難在後同月十日...

同部...

上之...

仲船...

信見多古...

水之松考人東

十一月十日積所去積進可抄傳仲之於之途詔風波積荷在在  
若難在後同月十日...

信見多古...







東田同部 同部 同部 同部 同部

東田同部 同部 同部 同部 同部

東田同部 同部 同部 同部 同部

東田同部 同部 同部 同部 同部

一 同部 同部 同部 同部 同部

是若道船... 東田同部 同部 同部 同部 同部

東田同部 同部 同部 同部 同部

一 同部 同部 同部 同部 同部

是若道船... 東田同部 同部 同部 同部 同部

東田同部 同部 同部 同部 同部

一 同部 同部 同部 同部 同部

是若道船... 東田同部 同部 同部 同部 同部

合貳拾九艘







靜岡縣

内務卿大久保利通殿

青高同趣聞届候桑木代金古之百五拾  
州寄渡之同大藏者出納寮之上納可取  
計九〇

明治九年八月九日

内務卿大久保利通殿

用外力拜謝利之候御座候事  
御座候事

九月十日  
静岡縣

九月十日甲地理寮より申越下り如し

別紙之備之船寮より懸合越之慶該地

志木引渡之候一箇般番足柄縣之於引

渡者取計候事縁本受取方照合會

今般之御座候事一別候也限不方致一問

御縣より御買紙出候事一於之代採入

キ之木之極印之鑑之從代々之取採方

精之注意引渡方御取計之上右代採木

數日通寸間相高代價之違之申有之

度此候申渡候事

静岡縣







之由既、田足柄縣、於之木引渡方爲取計  
 取後、高侍察ヨリ、別段御出張無之當縣、  
 亦員出之船察、於之伐採スヘキ之木、極  
 印ヲ廻シ、伐採之ヲ<sup>雨</sup>精<sup>雨</sup>之注意引渡方取  
 計ヨリ、申越之極、申上ノ別本月廿七日、  
 出シ、伐採之ヲ精之注意引渡方取  
 計申、尤伐採本數、同前ノ間、伐採等、  
 一、一、及、傳照會、以、此、能、傳、回、答、申、上、也、  
 九年八月廿七日、  
 青森縣令大迫直清、  
 青森縣令大迫直清、  
 青森縣令大迫直清、

地理續記

九年十月中、皇列天城山、於之海軍者、制之艦  
 用、伐採之、同山、監守人、高、文、給、其、外、之、後、  
 地理之、照會、左、如、し

記

- 一、全拾貳圓拾錢、  
 是、天城山、監守人、高、  
 是、本、年、三、月、廿、三、日、同、本、月、廿、九、日、近、日、數、九、十九、日、内、  
 伐、採、之、限、日、數、六、十二、日、一、日、全、貳、拾、錢、五、分、高、之、分、
- 一、全五圓、  
 是、本、年、七、月、一、日、ヨリ、同、八、月、廿、六、日、近、日、數、五、十、一、日、内、伐、採、  
 出、限、日、數、二、十五、日、一、日、全、貳、拾、錢、五、分、高、之、分、
- 一、全五拾圓、  
 是、本、年、一、月、ヨリ、七、月、近、日、數、五、十、一、日、内、伐、採、  
 木、數、相、記、之、修、野、帳、ハ、相、用、一、分、



静岡縣

合金拾八圓拾四錢之厘

右者巨列天城山に於て海軍省製艦校代採中  
取締検査に於て場所出候同山監守人高  
支給之候御察より一日金貳拾錢家ノ割合  
より受取由監守人中出有之旨四足柄縣より  
申渡有之然ル處同山大見口監守人巨列賀  
茂郎引村止口主平候本年二月一日同八月迄  
日高并用紙代迄下渡之候別紙之通此程  
出願取調候處本年二月前至今既迄  
出張金圓より請取後六月迄之合區切

相之候ノ請取方可申出候處迄應延會計年  
度迄之請取今更御渡方申候之石都合  
候御得共全之取違之延滞相成候迄  
相違ノ間可也之月以降高八月迄之合  
高并用紙代共御渡初成候様致し之度不苦  
候之御本者ノ間申可致候様否御答  
有之度此迄及傳照會候也

明治九年十月九日 静岡縣令大迫貞清

地理頭杉浦讓殿

地理頭より回答左ノ如し

静岡縣



天城山、於て海軍有用材伐採高  
際出限、自國より取替中、置修山口五平  
十九日、給科下渡方、義御照會、趣致了永  
修者、會計年度迄、並濟高、高今六月  
前、徑費受取方、事上申、不都合修間六  
月前、各義、御前、降之上、伐木取替、雇人  
之各義、以七月以降、延人数、致し、事上  
申、相成可然、卜存、依テ別冊、事上、此、及、事  
上、之、事、也、

明治九年十一月十日。地理頭松浦讓

新国器全大迫直清殿

九年十月中内務省より達したる如し

其際、管下、天城山、管引、入官林、於て  
海軍有用材、伐採、末木等、今般同者、  
照會、次第、受取方、取計、可申、尤右末木等  
量分、之、候、追テ、何令、之、沙汰、可及、此、相  
達

明治九年十月十二日、内務省大久保利通

系



靜岡縣

九年三月廿一日... 天城山... 海軍省... 用杖伐採... 引村山... 張口... 同十一月十五日... 者之... 記

九年三月廿一日... 天城山... 海軍省... 用杖伐採... 引村山... 張口... 同十一月十五日... 者之... 記

一金拾八圓拾四錢之厘

天城山監守人  
其外口高用紙代

金拾八圓拾錢

監守人日高

是年伐木... 取待明倍... 九年七月... 八日... 日數... 廿一日... 内... 出... 數... 廿四日... 全... 拾... 錢... 記

争岡縣



金拾四八拾錢

同雇人口高

是年右月以各所、於丁伐木各監守人各一人、  
不手回、身元、僅十儿者、相雇、為兩、結、明治九年、  
七月一日、同八月十日、迄、數、方、十一、内、伐木、口、數、  
三十四、口、内、二十、口、一、口、二人、家、此、延、人、數、同、拾、人、十、口、  
一、口、一人、元、以、人、數、十、口、人、合、延、人、數、十、口、人、一、口、  
人、合、延、人、數、十、口、人、一、口、

金五拾五錢之二厘

用紙錢

是年地理寮、之、丁、之、伐木、町、調、帳、在、伐木、數、同、也、帳、  
内、金、三、拾、三、錢、三、厘、  
是年、地理、寮、之、丁、之、伐木、町、調、帳、在、伐木、數、同、也、帳、  
内、金、三、拾、三、錢、三、厘、  
是年、地理、寮、之、丁、之、伐木、町、調、帳、在、伐木、數、同、也、帳、  
内、金、三、拾、三、錢、三、厘、

右者、豆、別、天、城、之、於、海、軍、者、製、艦、用、材、伐、採、  
中、取、結、檢、査、上、之、差、也、同、山、大、見、口、監、守、人、豆、別、

八月迄、之、雇、人、共、也、張、日、高、下、之、渡、願、也、取、調、

廣、豆、別、天、城、山、宜、林、海、軍、者、用、材、伐、木、之、後、

向、七、八、年、之、引、結、着、手、之、趣、各、地、理、寮、之、員、

在、交、代、の、際、一、中、之、各、該、員、取、結、之、后、官、員、

時、依、出、檢、査、の、致、年、常、規、末、の、件、該、監、

守、人、之、取、扱、一、年、自、本、年、二、月、迄、所、以、該、各、

同、山、監、守、人、日、高、支、給、之、俵、地、理、寮、ヨリ、一、口、金、  
貳、拾、錢、宛、請、取、由、監、守、人、申、出、有、之、旨、



青洲縣

田足柄縣より中後尾有之皆守人中也  
類相違ふ之より去面金出下之渡有之度  
此位相同候也

明治九年七月廿日 内務卿大久保利通

内務卿大久保利通

書面皆守人給科其他諸入費合全格

八田拾四錢之厘之高者地理臺より可下

渡之

明治九年七月廿日 内務卿大久保利通

青洲縣

十年二月中五列天城山に於て海軍省用杖伐

採り場所取替りたる之後同山皆守人日野

茂博村埃谷幸左衛門外主人高及用杖伐諸

而乃中出給りて夏迄其間二月より五月迄は一日

皆守人等所村出五年其計日皆月成代同

年十月迄皆守人中出右と人等計一年一度は

跨り給りて地理臺より皆守人等より内務

省に請ふる事申上候事今同候事道より日

商の上申上候事是上申候事左ノ如し

青洲縣







青  
田  
縣

内務卿大久保利通代理

内務省輔之町島安山殿

書面署名入給料其他諸入費合全拾八圓  
之拾三拾貳錢高者地理句ヨリ可下渡

内務卿大久保利通代理

明治十年二月廿日

内務省輔之町島安山

（Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the date '明治十年二月廿日' and the name '島安山'）

十年四月廿日 列座川村 艦杖代價上納同指  
令下ノ如シ

高金ノ百圓ノ内ノ艦杖代價 列座川村

一 金百九拾四圓ノ錢高 艦杖用檢拾本馬標代  
官納可也

外金百圓ノ内ノ檢拾本代社額ノ相渡分

右ノ高金ノ内ノ列座川村ノ島神社

境内檢拾本境外檢拾本軍艦標桁杖

トシテ海軍者ヨリ拂渡ニ後申奉候事相高

代價ヲ以テ同者迄之ニ同意協議ノ趣ニ付

拂渡方ニ取計ニ境内ニ本代金ノ神社修繕

争  
州  
系



貴州境外之日通十間代價詳細  
取締追之上納方二申也。昨九年三月二日  
貴州より日通板野の通年同司経より  
海軍省に引渡有許代價取調代價引渡  
の儀を附録より海軍省に開申。如今般書同司  
通より可成取調の代價を今般書同司に渡  
す。同司に七減者の上納の料二付或別紙代採表を  
添付此に相伺し。九社通修繕費より先より同社  
より同司に相渡す。同司に上納の儀  
同司に相渡す。大正九年三月二日

内務卿大久保利通代印

内務省輔前島密

同之通

内務卿大久保利通代理

明治十年四月六日 内務省輔前島密

Blank lined area with faint bleed-through text from the reverse side.

平州系







青  
山  
縣

楓  
松  
楮  
極  
松

一  
木  
數  
千  
百  
拾  
束

此  
尺  
×  
五  
千  
百  
九  
拾  
束  
六  
分  
九  
厘  
七  
毫

此  
代  
金  
六  
百  
四  
拾  
束  
八  
拾  
五  
厘  
四  
毫

并  
該  
部  
內  
各  
處  
所  
有  
之  
楓  
松  
楮  
極  
松

并  
該  
部  
內  
各  
處  
所  
有  
之  
楓  
松  
楮  
極  
松

此  
尺  
×  
五  
百  
拾  
束  
九  
分  
七  
厘  
七  
毫

此  
代  
金  
七  
百  
拾  
束  
九  
分  
七  
厘  
七  
毫

此  
尺  
×  
五  
百  
拾  
束  
九  
分  
七  
厘  
七  
毫

此  
尺  
×  
五  
百  
拾  
束  
九  
分  
七  
厘  
七  
毫

此  
尺  
×  
五  
百  
拾  
束  
九  
分  
七  
厘  
七  
毫

此  
代  
金  
七  
百  
拾  
束  
九  
分  
七  
厘  
七  
毫

此  
尺  
×  
五  
百  
拾  
束  
九  
分  
七  
厘  
七  
毫

此  
代  
金  
七  
百  
拾  
束  
九  
分  
七  
厘  
七  
毫

此  
尺  
×  
五  
百  
拾  
束  
九  
分  
七  
厘  
七  
毫

此  
尺  
×  
五  
百  
拾  
束  
九  
分  
七  
厘  
七  
毫

此  
代  
金  
七  
百  
拾  
束  
九  
分  
七  
厘  
七  
毫

此  
尺  
×  
五  
百  
拾  
束  
九  
分  
七  
厘  
七  
毫

此  
代  
金  
七  
百  
拾  
束  
九  
分  
七  
厘  
七  
毫

此  
尺  
×  
五  
百  
拾  
束  
九  
分  
七  
厘  
七  
毫

青  
山  
縣



合金六十四拾四兩六錢

新  
田  
縣

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

十年二月

一合拾八回拾四錢二合

三列天城山世守人具  
日書用代

右者三列天城山三條海軍有製船司杖  
伐採申取締檢査しこころ道及忠作同山大見口  
能守人同列如左郡村山五年後所九年  
七月八月迄雇人共見高美用紙代下下  
彼一後同年十月二十日付地埋察事及阻  
合同十一月十五日同察事同答依り本者これ  
同形如右合地理察事より下彼ら馬指合有  
之他地埋察事に依り度本者之是

争  
田  
系



青洲

此同去後招令可共相係此以乃傳幾合

仍也

明治十二年二月

地現同景松浦讓殿

...

...

...

...

十月

九月十一日午後船長中越左ノ如シ

一 天城山天見口官林伐採ノ船枝運

二 川取計ノ...

...

...

...

...

第一條

一天城山天見口官林ヨリ川下ノ諸枝ニ列田

方郡大仁村若枝之上ニ同所地内別紙甲

解



多繪田高畑地之候一時同志...  
之場所、見込、大見口杖伐兼少皆川  
下ノ相場、迄之如信受、積リ、以下地付方  
相札、如、下、年、積、口、不、或、右、九、斗、三、年、九、家  
葦、樹、植、移、科、ト、シ、一、時、年、壹、斗、五、束、中  
清、ハ、地、元、於、之、却、差、障、之、助、年、之、与  
申、出、一、子、ナ、リ、下、ノ、渡、畑、地、借、請、申、度、  
第、二、條  
一、大、仁、村、著、杖、各、同、所、於、之、年、積、之、接、野  
川、以、所、發、別、沼、津、取、下、何、原、町、等、地、也、

船積可致年積...  
紙之是同商...  
杖船積中ノ用場ヲ取建申度且從前川  
堰凡之拾間、右、梓、有、之、右、ノ、修、理、致、其  
他、因、杖、流、失、不、致、掃、害、例、ノ、上、年、結、末、之、  
結、算、以、地、元、相、札、ノ、上、年、結、算、又、之、以、助、之、  
申、出、之、年、著、年、致、  
第、三、條  
一、下、河、原、町、三、年、序、之、於、相、場、上、地、付、林、地  
内、之、船、杖、船、積、ヲ、取、扱、セ、人、足、共、一、十、屋

青  
青  
青

青  
青  
青



場を棟取建之及之其不以拾間幅拾間之  
地所也或度相成之也

但左集之之及之善障之也相成得見  
許町建之也

兼可條

一 則列牧之に駿列香野村西岸之田木堰船  
後通行路之拾間程切廻之從之也木  
有之趣之入其船枝後通行都之不  
差支之儀兼之其船之儀律相成之也  
六之條

一天城山大見口宿林より諸枝退し川下を放し

一 同口川節より大仁村迄夫より狩野  
一 節驛列信津駅迄西岸村より非常出水等

一 節の樹より河原より中津迄や相成之儀後諸  
取之防方より可致る事其船之儀律之方相

成、相成之儀

右の節町半舟の舟中可成行し其儀相成之也  
此等三下より其儀相成行し其儀相成之也  
其節町取調向分より後其儀相成有之也此  
其儀相成之儀相成之也

河原町 縣



主船司

九月十日

海軍大臣

關於國幣金大正會借處

Faint handwritten text in vertical columns, likely a memorandum or official document.

九月廿日中内務省

關於國幣

Main body of handwritten text on the left page, detailing administrative matters and financial reports.

Handwritten text at the bottom left of the page.



青洲

明治九年五月十一日 内務卿大久保利通

又七月廿日 其野下至列天城山川津口官林木海軍省主船寮  
於之取木船枝伐採取跡末枝切端木  
今般高有之受取取奉止所村方之入札  
拂致殘木跡取可申伐木跡地之候ハ明を至り  
谷間之以國所之松檜苗植付之積之苗木伐諸  
入書取調可同也此旨相達候

内務卿大久保利通代理

内務省輔林友幸

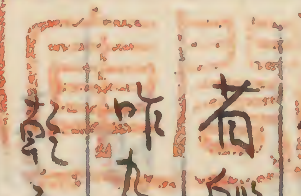
十年五月廿三日 列天城山船枝伐採跡根株其の  
拂代之候付申上候事如し

一 全 四 百 拾 錢

此株千七百之拾ハ株

船枝伐採跡末根株社  
本林代

右者 船寮主 列天城山河津口 於之海軍  
者 船枝末木根株之 主船寮より 請取入札 拂代  
昨九年五月 津有海地 予武拾之 同奉之月  
乾角八百之拾 同之ラ以 津濱各山 所村之入札  
觸之者 昔高代 價高札之 拂下之 本年二月十



青洲



之口付多以大藏者主能向之上納付右者之可以  
傳者之開申之仕之處所後初成之候宜傳承  
引之及依之此候上申仕候也

明治十年十月十日 靜岡縣令大迫貞清

内務卿大久保利通殿

力務少輔之御殿

一、村官林伐本代

九年十月十日

九年十月十日

九年十月十日 別字佐美村外之村官林伐本代  
今之家之御用者之御指合左ノ如シ

高野村之別字佐美村字前田山岡

郡細代村之細代山官林ノ於之有船伐伐

採之之本ノ日申天城山也長官

請之木數尺ノ代價共取調可者也

十月九日之基敷課ニ申候也

是月十月十日之代價明細取調

請之御用者之御指合

此ノ御用者之御指合











深山に伐採を来り然るに昨今造修の船  
供に獨術杖之數殊に松木挽等一職工  
何れも原國の態に雇入有るに積荷一舟  
伐本も休むるに人數一職工に數に倍  
任事す又何故に舟船に少くは舟者地  
理家より同業に波一舟船に積荷有る船  
家とて舟一舟船に照會の上右近傍に  
伐採部伐本も少くは一舟船に積荷有る船  
に伐採部伐本も少くは一舟船に積荷有る船  
林内所へ舟一舟船に伐採部伐本も少くは

強一律に伐採部伐本も少くは一舟船に積荷有る船  
に伐採部伐本も少くは一舟船に積荷有る船  
に伐採部伐本も少くは一舟船に積荷有る船  
に伐採部伐本も少くは一舟船に積荷有る船  
に伐採部伐本も少くは一舟船に積荷有る船  
に伐採部伐本も少くは一舟船に積荷有る船  
に伐採部伐本も少くは一舟船に積荷有る船  
に伐採部伐本も少くは一舟船に積荷有る船  
に伐採部伐本も少くは一舟船に積荷有る船  
に伐採部伐本も少くは一舟船に積荷有る船

九一一年一月一日  
海軍大臣三村純義  
大臣三村純義



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines across the page.

Vertical handwritten text located in the gutter between the two pages, possibly serving as a section header or a note.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It is arranged in approximately 4 horizontal lines.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a specific note, located below the main block of text on the left page.

Handwritten text in a cursive script, arranged in approximately 10 horizontal lines. This block contains the main body of text on the left page.

Printed text at the bottom of the left page, likely a page number or a title, written in a traditional Chinese font.



大城者世勅向工上統如之任也  
明初之入古出以相向也

明初之時也

力能御方之理也

力能御方之理也

書面合之百拾拾者美九同

可前詩

由能御方之理也

明初之時也

十年十一月

本年四月廿日三列天城山杜麻村組合持  
字洞山十唱・林場野燒之節同山大見  
口管引入官林・延燒構面製造船所  
伐採之船枚燒損・高其節專之船枚  
伐採中多多數之木枚官林・故布有之  
しゆ如此以後焚燒等々官林中延燒  
夫力盾下一般枚燒失等之候有之  
不都合不少・余林麻各村・於以後野燒  
致し一節の籍・注意致し候







八月十日

天城山麓等處

燒燬之

中作

下

...

...

...

八月十日

本年八月十日

天城山麓等處

燒燬之

中作

下

...

...

...

精











木數七千九百八拾九本

概合 物計 尺×壹萬二千四百七拾本 七寸

代價貳千七百八拾七圓七拾五錢六分

概合 尺×壹萬二千四百七拾本 七寸

代價貳千四百八拾九圓七拾五錢六分

木數九百七拾本

概合 尺×千九百七拾本 八寸

代價貳千四百八拾九圓七拾五錢六分

木數五百本

概合 尺×八百九拾本 八寸

代價一千四百八拾九圓七拾五錢六分

木數貳拾本

概合 尺×貳拾本 八寸

代價四百八拾九圓七拾五錢六分

木數貳百七拾本

概合 尺×百七拾本 八寸

代價四百八拾九圓七拾五錢六分

解明系







五三十一

五三十一

五三十一

Handwritten text in vertical columns, likely a list or record of events.

十一年十月廿四日

十一年十月廿四日

Handwritten notes or dates.

一 金...

Handwritten notes or dates.

Handwritten notes or dates.

右天城山大見...

用杖伐木...

結...

同是...

解...







青洲縣

茂本明細表并本代相場主目共計

八月廿九日十月十日 附同縣令大迫直臣

海軍少將

...

...

...

...

...

...

木數 五千七百七拾七本

總計 尺×七拾七箇×十千五百八拾四本五分三厘

代價 貳千七百九拾九百九拾錢三厘

内

木數 四千貳百七拾七本

概合 尺×七拾七箇×十千五百八拾四本五分三厘

代價 貳千九拾七圓七拾八錢

此尺×壹本×拾八錢

青洲縣



青島縣

木敷之運百五拾貳本

杉合尺々千九百五拾貳本四厘九毛

代價或る日拾貳圓五拾八錢五分

聯合尺々他尺々千七百五拾貳本

本運四半方番拾貳本

同

力動拾貳本

拾貳本

本運五半方番拾貳本

十一年一月申五が天城山船枚代價上納之に係り  
二年九月如し

天城山船枚代價上納之に係り  
二年九月如し

一合貳千七百五拾貳本

此木敷五千七百五拾貳本

他 日通尺尺のり

右天城山大見口之林に於て海軍省船枚

代木之候去、明治八年九月九日、是處船

枚相敷以後、明治八年九月九日、是處船

枚八月より同、明治八年九月九日、是處船

解州縣



青  
木  
集

昔商木代金今般之形可也  
爲有之間大藏者出納可也  
信之別紙尺×表寸  
日正十一月十九日  
藤岡縣令大田良清

内務部大文保利通殿

十一月十九日  
藤岡縣令大田良清

木數計千九百拾貳本

概榎 總計尺×五十八百五拾本五分二厘

代價四百四拾五圓二拾八錢五分

内

木數之百四拾本

概合 尺×千五拾之本五分之二厘九毫

代價百八拾九圓七拾錢五分

代尺×本百拾八錢

木數百八本

條



青  
島  
縣

杉合 尺×百拾寸本 拾分毛

代價 貳拾四圓

但尺×百拾寸本 拾分毛

小敷 貳寸×百拾寸本

概合 尺×百拾寸本 拾分毛

代價 貳拾四圓

但尺×百拾寸本 拾分毛

木敷 貳寸×百拾寸本

概合 尺×百拾寸本 拾分毛

代價 拾四圓

但尺×百拾寸本 拾分毛

十一月

御營内皇別天城山大見口地城入瓦葺場

入倉林ノ葺明徳十一年一月廿六日代價九

成以横濱船所船枝使用概合

外木代金之俟客年十一月廿六日代價四

百拾寸本以明細仕譯兼本代本場

書相副法監合在場ノ別紙日録

之代金可百拾寸本拾錢本屋二ノ井銀

行預奉ノ以取進司ノ差代ノ法監ノ

御  
營  
内  
皇  
別  
天  
城  
山  
大  
見  
口  
地  
城  
入  
瓦  
葺  
場



青果

十一月三日 海軍大臣 記在石川利行

... 記在石川利行 ... 十一月三日 ...

榎木概櫃

一本數貳千九百拾貳本

此尺×貳千二百拾本全上二層

代全四百拾本二拾二層全上層

内

榎木數之四百拾本

此尺×千二百拾本全上層九色

代全四百拾本全上層全上層

杉木數一百本

此尺×百本拾本全上層



此代金貳拾壹圓拾五錢二分

概木數貳千二百拾貳本

此尺×四十四百拾本九分七厘七毛

静岡縣

此代金貳百拾圓五拾四錢二分

概木數之百貳本

此尺×貳百貳本貳分

此代金拾五圓八錢二分

一、概木數之百貳本

十一年二月一日別天城山海軍者用枚代價上納方  
之候上申左ノ如シ

此代金別天城山海軍者用枚代價上納方

一、金四百拾七圓拾八錢五分

此木數貳千九百拾貳本

但 日通此尺ノ寸數同尺也  
長尺同寸同寸

右者天城山大見口狩野口官林ノ於テ海軍

者用枚木ノ候同上川津口官林伐採ノ手續

以テ引渡ノ明治八年九月廿七日付足柄野

ノ邊澤ノ引渡以後大見口地藏堂ノ

静岡縣



青田縣

代場入倉林ノ於テ於十一年一月廿五日迄  
伐採ノ廣ニ分尺ノ明細表ヲ調査シテ  
船ノ二及照會ノ形質ノ般書面ニ於テ  
附録ニ送付スル大藏省出納ノ上納  
付ノ係ノ別紙ニ於テ此ノ旨ヲ申上ル

明治十一年二月十日 青田縣令大迫自借

内務卿大久保利通殿

十一月三日 青田縣令大迫自借

十月九日 青田縣令大迫自借  
代場入倉林ノ於テ於十一年一月廿五日迄

金九圓拾錢ノ旨

金八圓拾錢

此ノ旨ニ付テ於十一年一月廿五日迄  
代場入倉林ノ於テ於十一年一月廿五日迄

金三圓拾錢ノ旨

金三圓拾錢ノ旨

青田縣



是者地理向之長也伐木取調并  
在木敷  
相河新限之申令

右者當縣下別天城山、海軍省用  
杖伐採中取結、子美也同山大見口監守  
人同別賀茂郡袋場村塩谷幸左門本  
一月九日、五月、  
信用中之國書面之金、  
信度依之、  
九年、

藤岡縣之大河原

内務卿大久保利通殿

書面、  
九月拾錢、  
但明治九年、  
照、  
之、

明治十年十月十日 内務卿大久保利通

靜州縣



青

十一年十月申日列大仁村地先河原地ノ實船杖流  
向ノ條ノ申上ノ如シ  
高野ノ別天城山ノ林ノ海軍省船杖區ノ  
伐採ノ實今因同山ノ引ノ木杖川下ノ相成  
不遠同別田方郡大仁村伍圓場ノ實杖可致  
見込ノ由然ルニ同村在来ノ信ノ漸次詳  
多ク船杖運送便路ノ田方致事ノ趣仍  
別紙書向ニ過右地先河原地ノ水路ノ痕跡有  
之俾場所ヲ察テ平川ノ一時漲網ニテ流  
更ニ堀割ノ支流ヲ以木杖流通船運ニテ極

十一年十月申日列大仁村地先河原地ノ實船杖流  
向ノ條ノ申上ノ如シ  
高野ノ別天城山ノ林ノ海軍省船杖區ノ  
伐採ノ實今因同山ノ引ノ木杖川下ノ相成  
不遠同別田方郡大仁村伍圓場ノ實杖可致  
見込ノ由然ルニ同村在来ノ信ノ漸次詳  
多ク船杖運送便路ノ田方致事ノ趣仍  
別紙書向ニ過右地先河原地ノ水路ノ痕跡有  
之俾場所ヲ察テ平川ノ一時漲網ニテ流  
更ニ堀割ノ支流ヲ以木杖流通船運ニテ極

靜州縣







十一年の通商令に於ては、然るに、右の如く般  
本邦の利権保護の爲め、固より別段の  
可成り力務者、其中致意の厚き此候及、  
回答候。

明治十一年二月一日。陸軍省大司官官

地理司長櫻井勉殿

此報内記載の如く、本邦の利権保護の爲め、固より別段の

可成り

十一年の通商令に於ては、

御覧下天城山大見口官林之旅、海軍省

艦隊、伐木、一昨九年六月、同年七月、

伐採、濟し、今本代令上納、候、日本、一

月、十、九、日、白、着、九、九、日、以、使、関、中、古、之、如

本代令、金、之、着、九、十、日、商、一、度、内、孰、し、カ、收、入

強、強、并、之、爲、工、事、調、込、り、大、藏、省、之、傳、由

出、九、九、日、着、九、九、日、結、并、に、未、同、者、之、傳、由

之、相、成、サ、レ、部、分、の、以、カ、調、査、之、都、合、に

係、系、具、體、一、應、中、越、相、成、度、此、以、及

系、系、一、應、中、越、相、成、度、此、以、及



清照會帳

十一年三月一日 地理司若根井 勘合

藤岡經合大進自廣敷

藤岡經合大進自廣敷

藤岡經合大進自廣敷

藤岡經合大進自廣敷

藤岡經合大進自廣敷

藤岡經合大進自廣敷

藤岡經合大進自廣敷

藤岡經合大進自廣敷

十一年三月 藤岡經合大進自廣敷 地理司若根井 勘合

答右ノ如シ

藤岡經合大進自廣敷

藤岡經合大進自廣敷

藤岡經合大進自廣敷

藤岡經合大進自廣敷

藤岡經合大進自廣敷

藤岡經合大進自廣敷

藤岡經合大進自廣敷



書  
部  
署

今午百四拾九日地之行本排代  
編成大藏者之上申致  
度此後請答

明治十一年二月

地理の部  
衛生の部

Handwritten notes in vertical columns, including the characters '茶' and '茶'.

娼妓検査規則

- 一 姓名録二通ヲ認メ一通ヲ世話係持テ一通  
雑務係所持ス可シ
- 一 世話掛一各娼妓ヲ引捨病院或ハ検査所溜  
所ハ富屋ニ姓名録一巻付テ順ニ一各宛番号ヲ  
以テテ検査ス可シ
- 一 検査場ニ世話係一各々入可シ
- 一 検査済一上ハ医員検査済ト認メ印ヲ捺シテ  
世話係引渡ス可シ
- 一 梅毒アル者ハ入院  
病室ニ印ヲ捺シ世話係引渡

争  
調  
系



世話係、於テ入院サス可シ輕症ノ者ハ治療  
ノニ帰サシム

一 検査場、警部及巡查中必之會ハシ

一 検査定日トテ之相定不都合無ク棟病院  
娼妓規則ニ照準シ世話<sup>五</sup>於テ注意ス可シ

一 検査科、世話係、於テ取纏、其時ニ雜務係  
ハ可差出ス

一 雜務係世話係ヨリ見タレ検査科

一 一月分取纏聖月五日限リ計等書相係縣  
廳ニ送ル出ス可シ

但計等書相係連所  
検査係

十年二月甲

醫師旋治ノ患者死亡届之候、昨九年内  
務省乙第十三號及同本同省同第百六十四号并、  
同本同省同ヤ百ノ格カ、布達之趣、有之尚本  
年二月中高縣番外ヲ以テ相違、置係候、有之尚  
世ノ書式ニ照準セテ職業年数等ヲ記載セサル  
書面指出、向モ有之甚々、以其不都合之事、係元  
来死亡届ノ土地ノ職業等ノ原ケル疾病異同多  
少アルヲ查出シ自然像仿講定ノ用、供係係ニ  
内務省ニ上達可致書面、右様不都合有之、



青川縣

テ、且、不、適、事、者、必、書、或、は、准、に、可、な、ら、る、  
一、等、業、之、者、と、論、議、可、致、此、位、相、違、  
〇

一、同、治、十、年、の、事、に、  
一、同、治、十、年、の、事、に、

一、同、治、十、年、の、事、に、

一、同、治、十、年、の、事、に、

一、同、治、十、年、の、事、に、

一、同、治、十、年、の、事、に、

一、同、治、十、年、の、事、に、

一、同、治、十、年、の、事、に、

一、同、治、十、年、の、事、に、

一、同、治、十、年、の、事、に、

十、三、日、

醫務取締

一、死、七、日、之、後、誤、に、同、コ、リ、上、達、し、書、向、リ、以、道、  
一、内、務、省、之、可、差、出、儀、多、用、紙、及、書、式、ホ、内、務、  
一、省、達、之、用、先、般、未、度、之、布、達、政、令、間、ハ、都、  
一、合、之、用、書、差、出、者、有、之、ト、為、數、回、ト、は、復、シ、煩、  
一、シ、家、ノ、工、甲、之、期、シ、留、シ、ト、シ、リ、甚、以、不、相、適、シ、  
一、シ、元、來、死、七、日、之、後、イ、地、ニ、職、業、ホ、原、ル、症、病、  
一、ノ、異、同、多、少、ハ、シ、テ、査、出、シ、將、來、豫、防、法、講、究、  
一、ノ、用、供、シ、復、タ、シ、ニ、医、員、ホ、勉、メ、テ、精、細、シ、要、  
一、シ、布、達、之、準、據、ス、ハ、キ、旨、ハ、然、ル、シ、徒、ニ、租、徧、

條



青田縣

有之...其職事各分於...是...可愧且任...失  
又此...美...之...余...自...今...為...度...布...達...準...據...一  
致...此...自...相...傳...  
...

明...  
...

...

...

十月廿四日

十三日

...

...

...

...

...

...

...

...



青森縣

青森縣

青森縣

青森縣

青森縣

青森縣

青森縣

青森縣

十月二日

十月十月中身引刺之病流行之際、何處國各所、於  
ラ特別甚カセシテ、  
田方郡原木村

源原文英

十月二日、偏中、月給金拾貳圓給與同。出  
後、第九大區、七、八、區、蓮華寺村、善夫、濱村、白  
濱村、  
連列刺病、  
月廿。月給金拾五圓、增加患者八名、治療、  
如劇症、  
淨州系



同日十九日迄十三日間夙夜勉勵一節尽力ス

但患者死ニ至ル者 田坂長三郎 進士鶴吉

市村松太郎 佐々木辰成 田浦徳太郎 天

野原吉平 山本保太郎 服部新兵衛

全治ヤシ者 玉木孝太郎

同日二十日 齋藤 郡守 齋藤 郡守

多々良 榎庵

十月廿二日 備中 白月 給金拾五圓 給與 即日 細

代付 同日十三日 迄 日間 備中 在 患者 三 各 治

療 又 其 一 自 不 顧 之 事 盡 力 勉 勵 十 八 人 氏 頓

感服賞賜ス

但患者全治スル者 大川庄兵衛 田中

文八 田中徳松

並山ニ 恆 徳 之 途

■ 上 賞

十月一日ヨリ 同日 迄 十八日間 夙夜

ノ 別 ナリ 東 奔 西 走 常 力 勉 勵 隨 時 倦 事 十

リ 甚 其 職 ヲ 尽 ス 者 ト 云 可 レ 以 賞 賜 ス ル 者 之 名

但 月 給 金 拾 五 圓 之 額 ヲ 以 日 當 リ 給 与 ス



青柳縣

駿東郡沼津病院區

杉村行二

九月廿八日備中自月給金拾五圓給與也。

細代村區同所費者其數是之陸十月同所

日同所費也一區其給費之者七名也

他處者其數也

*[Faint bleed-through text from the reverse side]*

十年三月廿日種痘之後子數人連日大如し

醫務取録之

種痘之症之支度、証自今静岡同病院、於

此市々々種痘之區種痘之費用取借也

古因所可申之取集

但中之取集區務取録ノ授印ヲ要之也

、申出可し

一種之痘料收入全割五合病院費トシテ同所

可相納也

但此處大正二大已其大正三同大正五大

静岡縣







ラレテ辨理セシムト雖敬部巡查并本院医員  
隨時出張監督視檢スル事アル可シ

第四款

一 徵毒ノ罹ルモノハ其輕重ニ依リ入院或ハ通院  
セシムルニ依テ後當事セシムルモ医員ノ權ニ  
可シ

第五款

一 餘病ノ罹リ出場檢査ヲ經ル能ハサルモノ世話挂  
ノ具中ニ依リ病床ニ就キ證察スル事アルヘシ  
但高日檢査ヲ經サル者ハ其餘病快愈ノ上ニ

應檢査ヲ經サレハ當事セシム可ラス

第六款

一 入院通院ヲ拒ム者ハ医員ヨリ出張敬部ニ談  
リ其日趣取ルル事アル可シ

第七款

一 檢査場ニ於テ娼妓ヨリ其病症等ヲ尋マル檢  
査畢テ後ニ非シニ答ルル及ニサレ可シ



青  
山  
縣

Vertical columns of handwritten text, likely a list or record, written in cursive style.

田原國田方部

三十一番

焼死

飯田三平

口

田人妻

五

田人妻

四

口

田人妻

人

降  
州  
系



青田縣

口口口口

口口口

飯田熊吉

口口口口

現今戸主

養子

飯田又四郎

口口口口

青田縣

第八區九上区牧之御村

手民

飯田又四郎

其母屋宅本年一月八日失火折節烈風  
一時延燒ノ際祖母むら兼妻きん及養子  
熊吉ナルモノ祖父ノ危急ヲ救シト欲シ火  
中ヲ脱離スルニ力入尽力ノ際茨屋顛  
倒家ニ燒死候候憫然ニ至テ右三人  
參り資料トシテ金拾五圓支給スルコト

明治十一年十一月十四日

青田縣



静岡縣

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、  
 十一、  
 十二、  
 十三、  
 十四、  
 十五、  
 十六、  
 十七、  
 十八、  
 十九、  
 二十、  
 二十一、  
 二十二、  
 二十三、  
 二十四、  
 二十五、  
 二十六、  
 二十七、  
 二十八、  
 二十九、  
 三十、  
 三十一、  
 三十二、  
 三十三、  
 三十四、  
 三十五、  
 三十六、  
 三十七、  
 三十八、  
 三十九、  
 四十、  
 四十一、  
 四十二、  
 四十三、  
 四十四、  
 四十五、  
 四十六、  
 四十七、  
 四十八、  
 四十九、  
 五十、  
 五十一、  
 五十二、  
 五十三、  
 五十四、  
 五十五、  
 五十六、  
 五十七、  
 五十八、  
 五十九、  
 六十、  
 六十一、  
 六十二、  
 六十三、  
 六十四、  
 六十五、  
 六十六、  
 六十七、  
 六十八、  
 六十九、  
 七十、  
 七十一、  
 七十二、  
 七十三、  
 七十四、  
 七十五、  
 七十六、  
 七十七、  
 七十八、  
 七十九、  
 八十、  
 八十一、  
 八十二、  
 八十三、  
 八十四、  
 八十五、  
 八十六、  
 八十七、  
 八十八、  
 八十九、  
 九十、  
 九十一、  
 九十二、  
 九十三、  
 九十四、  
 九十五、  
 九十六、  
 九十七、  
 九十八、  
 九十九、  
 一百、  
 一百一、  
 一百二、  
 一百三、  
 一百四、  
 一百五、  
 一百六、  
 一百七、  
 一百八、  
 一百九、  
 二百、  
 二百一、  
 二百二、  
 二百三、  
 二百四、  
 二百五、  
 二百六、  
 二百七、  
 二百八、  
 二百九、  
 三百、  
 三百一、  
 三百二、  
 三百三、  
 三百四、  
 三百五、  
 三百六、  
 三百七、  
 三百八、  
 三百九、  
 四百、  
 四百一、  
 四百二、  
 四百三、  
 四百四、  
 四百五、  
 四百六、  
 四百七、  
 四百八、  
 四百九、  
 五百、  
 五百一、  
 五百二、  
 五百三、  
 五百四、  
 五百五、  
 五百六、  
 五百七、  
 五百八、  
 五百九、  
 六百、  
 六百一、  
 六百二、  
 六百三、  
 六百四、  
 六百五、  
 六百六、  
 六百七、  
 六百八、  
 六百九、  
 七百、  
 七百一、  
 七百二、  
 七百三、  
 七百四、  
 七百五、  
 七百六、  
 七百七、  
 七百八、  
 七百九、  
 八百、  
 八百一、  
 八百二、  
 八百三、  
 八百四、  
 八百五、  
 八百六、  
 八百七、  
 八百八、  
 八百九、  
 九百、  
 九百一、  
 九百二、  
 九百三、  
 九百四、  
 九百五、  
 九百六、  
 九百七、  
 九百八、  
 九百九、  
 一千、  
 一千一、  
 一千二、  
 一千三、  
 一千四、  
 一千五、  
 一千六、  
 一千七、  
 一千八、  
 一千九、  
 二千、  
 二千一、  
 二千二、  
 二千三、  
 二千四、  
 二千五、  
 二千六、  
 二千七、  
 二千八、  
 二千九、  
 三千、  
 三千一、  
 三千二、  
 三千三、  
 三千四、  
 三千五、  
 三千六、  
 三千七、  
 三千八、  
 三千九、  
 四千、  
 四千一、  
 四千二、  
 四千三、  
 四千四、  
 四千五、  
 四千六、  
 四千七、  
 四千八、  
 四千九、  
 五千、  
 五千一、  
 五千二、  
 五千三、  
 五千四、  
 五千五、  
 五千六、  
 五千七、  
 五千八、  
 五千九、  
 六千、  
 六千一、  
 六千二、  
 六千三、  
 六千四、  
 六千五、  
 六千六、  
 六千七、  
 六千八、  
 六千九、  
 七千、  
 七千一、  
 七千二、  
 七千三、  
 七千四、  
 七千五、  
 七千六、  
 七千七、  
 七千八、  
 七千九、  
 八千、  
 八千一、  
 八千二、  
 八千三、  
 八千四、  
 八千五、  
 八千六、  
 八千七、  
 八千八、  
 八千九、  
 九千、  
 九千一、  
 九千二、  
 九千三、  
 九千四、  
 九千五、  
 九千六、  
 九千七、  
 九千八、  
 九千九、  
 一万、  
 一万一、  
 一万二、  
 一万三、  
 一万四、  
 一万五、  
 一万六、  
 一万七、  
 一万八、  
 一万九、  
 二万、  
 二万一、  
 二万二、  
 二万三、  
 二万四、  
 二万五、  
 二万六、  
 二万七、  
 二万八、  
 二万九、  
 三万、  
 三万一、  
 三万二、  
 三万三、  
 三万四、  
 三万五、  
 三万六、  
 三万七、  
 三万八、  
 三万九、  
 四万、  
 四万一、  
 四万二、  
 四万三、  
 四万四、  
 四万五、  
 四万六、  
 四万七、  
 四万八、  
 四万九、  
 五万、  
 五万一、  
 五万二、  
 五万三、  
 五万四、  
 五万五、  
 五万六、  
 五万七、  
 五万八、  
 五万九、  
 六万、  
 六万一、  
 六万二、  
 六万三、  
 六万四、  
 六万五、  
 六万六、  
 六万七、  
 六万八、  
 六万九、  
 七万、  
 七万一、  
 七万二、  
 七万三、  
 七万四、  
 七万五、  
 七万六、  
 七万七、  
 七万八、  
 七万九、  
 八万、  
 八万一、  
 八万二、  
 八万三、  
 八万四、  
 八万五、  
 八万六、  
 八万七、  
 八万八、  
 八万九、  
 九万、  
 九万一、  
 九万二、  
 九万三、  
 九万四、  
 九万五、  
 九万六、  
 九万七、  
 九万八、  
 九万九、  
 十万、  
 十万一、  
 十万二、  
 十万三、  
 十万四、  
 十万五、  
 十万六、  
 十万七、  
 十万八、  
 十万九、  
 十一万、  
 十一万一、  
 十一万二、  
 十一万三、  
 十一万四、  
 十一万五、  
 十一万六、  
 十一万七、  
 十一万八、  
 十一万九、  
 十二万、  
 十二万一、  
 十二万二、  
 十二万三、  
 十二万四、  
 十二万五、  
 十二万六、  
 十二万七、  
 十二万八、  
 十二万九、  
 十三万、  
 十三万一、  
 十三万二、  
 十三万三、  
 十三万四、  
 十三万五、  
 十三万六、  
 十三万七、  
 十三万八、  
 十三万九、  
 十四万、  
 十四万一、  
 十四万二、  
 十四万三、  
 十四万四、  
 十四万五、  
 十四万六、  
 十四万七、  
 十四万八、  
 十四万九、  
 十五万、  
 十五万一、  
 十五万二、  
 十五万三、  
 十五万四、  
 十五万五、  
 十五万六、  
 十五万七、  
 十五万八、  
 十五万九、  
 十六万、  
 十六万一、  
 十六万二、  
 十六万三、  
 十六万四、  
 十六万五、  
 十六万六、  
 十六万七、  
 十六万八、  
 十六万九、  
 十七万、  
 十七万一、  
 十七万二、  
 十七万三、  
 十七万四、  
 十七万五、  
 十七万六、  
 十七万七、  
 十七万八、  
 十七万九、  
 十八万、  
 十八万一、  
 十八万二、  
 十八万三、  
 十八万四、  
 十八万五、  
 十八万六、  
 十八万七、  
 十八万八、  
 十八万九、  
 十九万、  
 十九万一、  
 十九万二、  
 十九万三、  
 十九万四、  
 十九万五、  
 十九万六、  
 十九万七、  
 十九万八、  
 十九万九、  
 二十万、  
 二十万一、  
 二十万二、  
 二十万三、  
 二十万四、  
 二十万五、  
 二十万六、  
 二十万七、  
 二十万八、  
 二十万九、  
 二十一万、  
 二十一万一、  
 二十一万二、  
 二十一万三、  
 二十一万四、  
 二十一万五、  
 二十一万六、  
 二十一万七、  
 二十一万八、  
 二十一万九、  
 二十二万、  
 二十二万一、  
 二十二万二、  
 二十二万三、  
 二十二万四、  
 二十二万五、  
 二十二万六、  
 二十二万七、  
 二十二万八、  
 二十二万九、  
 二十三万、  
 二十三万一、  
 二十三万二、  
 二十三万三、  
 二十三万四、  
 二十三万五、  
 二十三万六、  
 二十三万七、  
 二十三万八、  
 二十三万九、  
 二十四万、  
 二十四万一、  
 二十四万二、  
 二十四万三、  
 二十四万四、  
 二十四万五、  
 二十四万六、  
 二十四万七、  
 二十四万八、  
 二十四万九、  
 二十五万、  
 二十五万一、  
 二十五万二、  
 二十五万三、  
 二十五万四、  
 二十五万五、  
 二十五万六、  
 二十五万七、  
 二十五万八、  
 二十五万九、  
 二十六万、  
 二十六万一、  
 二十六万二、  
 二十六万三、  
 二十六万四、  
 二十六万五、  
 二十六万六、  
 二十六万七、  
 二十六万八、  
 二十六万九、  
 二十七万、  
 二十七万一、  
 二十七万二、  
 二十七万三、  
 二十七万四、  
 二十七万五、  
 二十七万六、  
 二十七万七、  
 二十七万八、  
 二十七万九、  
 二十八万、  
 二十八万一、  
 二十八万二、  
 二十八万三、  
 二十八万四、  
 二十八万五、  
 二十八万六、  
 二十八万七、  
 二十八万八、  
 二十八万九、  
 二十九万、  
 二十九万一、  
 二十九万二、  
 二十九万三、  
 二十九万四、  
 二十九万五、  
 二十九万六、  
 二十九万七、  
 二十九万八、  
 二十九万九、  
 三十万、  
 三十一万、  
 三十二万、  
 三十三万、  
 三十四万、  
 三十五万、  
 三十六万、  
 三十七万、  
 三十八万、  
 三十九万、  
 四十万、  
 四十一万、  
 四十二万、  
 四十三万、  
 四十四万、  
 四十五万、  
 四十六万、  
 四十七万、  
 四十八万、  
 四十九万、  
 五十万、  
 五十一万、  
 五十二万、  
 五十三万、  
 五十四万、  
 五十五万、  
 五十六万、  
 五十七万、  
 五十八万、  
 五十九万、  
 六十万、  
 六十一万、  
 六十二万、  
 六十三万、  
 六十四万、  
 六十五万、  
 六十六万、  
 六十七万、  
 六十八万、  
 六十九万、  
 七十万、  
 七十一万、  
 七十二万、  
 七十三万、  
 七十四万、  
 七十五万、  
 七十六万、  
 七十七万、  
 七十八万、  
 七十九万、  
 八十万、  
 八十一万、  
 八十二万、  
 八十三万、  
 八十四万、  
 八十五万、  
 八十六万、  
 八十七万、  
 八十八万、  
 八十九万、  
 九十万、  
 九十一万、  
 九十二万、  
 九十三万、  
 九十四万、  
 九十五万、  
 九十六万、  
 九十七万、  
 九十八万、  
 九十九万、  
 一百万

去九年十一月想分三十七号ヲ以テ照会  
 方之静岡市下之嶋駅郵便取扱役渡邊  
 依年次より同駅内之嶋神社近傍に郵便  
 箱取扱役相成度旨申上之候事以テ之由問  
 合之類夫、了兼小人申上之如左候事  
 之衆庶人民之便利を成可申依テ該局より人手  
 郵便箱設之ニ場所別紙略圖之通尤切手  
 賣下所之候者右取扱役之便否之候  
 相成、如別紙略圖之不相成トモ該局に於



青島縣

一 一時の敷枚の士官下不便相成たる様致  
度の中出、將開函之後毎日午の七時午  
後之時内度開函を郵達との序に取計、  
各別所仕置等一々あり  
一 右郵便箱内面先般馬を廻有る、駝形做  
制は倍之積ヲ以職上仕様取之差出、様註  
郵便局の命、各別紙の備積置差出右の  
御申越之代價、所相違有る、入共度柄相  
當之様申出、及馬海送へ問可然馬送後  
有之度此所及馬回答あり

十年一月

聚所の局長  
山崎 茂

本年太政官書本告第一號

詔書之趣、有之歳出費用節減、度日  
御管下郵便局及郵便線路中其地ノ数量  
シ不急之令ト見込、者ハ送局或ハ往復度数減  
殺等當時取調中、有之漸、可及馬照入費積  
尤必用之線路ヲ絶テ度数ヲ相減、等之為  
多ク人民ノ不便ヲ醸成候等之場所ハ勉テ  
其間、可措置ハ勿論猶幾層之度数増ホ  
可取扱候ハ共先以彼是ノ都合線メ考テ

青島縣



靜岡縣

知有之度此段中進置修也

取進局長

十一年一月十八日

前島内務少輔

大迫靜岡縣令殿

（Faint handwritten text, likely a letter or official document, mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side.)

街以下系列山田間之郵便物各番數

一應及調査ノ處古河地ノ外各向ニ於テハ未

格別多數ニ至ラズ豫テ申照會及置

通即今諸般之經費即減著手ニ際テ互地

間回數減者左ノ通り各地ニ相違ニ候其旨

以テ承有之度此段及申通知ス也

取進局長

明治十一年一月十九日

前島内務少輔

大迫靜岡縣令殿

靜岡縣















青  
山  
集

御  
下  
賀  
茂  
郡  
喜  
良  
村  
郵  
便  
取  
扱  
後  
取  
扱  
作  
定  
八  
中  
台  
初  
成  
度  
之  
未  
年  
之  
類  
了  
取  
扱  
同  
人  
之  
後  
役  
中  
台  
之  
請  
令  
之  
通  
馬  
回  
中  
之  
郵  
便  
之  
以  
事  
達  
之  
未  
請  
取  
扱  
之  
諸  
品  
請  
紙  
之  
美  
七  
取  
扱  
後  
自  
元  
引  
受  
人  
之  
為  
引  
紙  
接  
文  
之  
做  
之  
若  
認  
一  
同  
馬  
是  
取  
扱  
有  
之  
度  
此  
候  
及  
回  
答  
傳  
也

御  
下  
賀  
茂  
郡  
喜  
良  
村  
郵  
便  
取  
扱  
後  
取  
扱  
作  
定  
八  
中  
台  
初  
成  
度  
之  
未  
年  
之  
類  
了  
取  
扱  
同  
人  
之  
後  
役  
中  
台  
之  
請  
令  
之  
通  
馬  
回  
中  
之  
郵  
便  
之  
以  
事  
達  
之  
未  
請  
取  
扱  
之  
諸  
品  
請  
紙  
之  
美  
七  
取  
扱  
後  
自  
元  
引  
受  
人  
之  
為  
引  
紙  
接  
文  
之  
做  
之  
若  
認  
一  
同  
馬  
是  
取  
扱  
有  
之  
度  
此  
候  
及  
回  
答  
傳  
也

十  
年  
之  
月  
十  
日

之  
島  
内  
務  
少  
輔

取  
扱  
百  
六

條  
系











大迫郡同縣令殿

Faint handwritten text in vertical columns, likely a letter or official document.

本縣下三列各郡大場村郵便取扱役大  
村喜平度更之候先般及傳照會同如去月  
二十八日付以新着取扱役之傳渡及傳令同  
及金子入書状取扱役許印證具令是感奉系  
不白之拾三号傳渡之部傳渡付子夫之傳方  
取計一知別紙之旨請書及傳令同傳渡  
品受絶之矣同取扱役之傳渡之印證  
一之傳令同及傳令同此候申





青島縣

青島縣知事 大迫貞清

取付可也

青島縣知事 大迫貞清

Faint handwritten text, likely a letter or official document, mostly illegible due to fading.

青島縣知事 大迫貞清

青島縣知事 大迫貞清

青島縣知事 大迫貞清

青島縣知事 大迫貞清

青島縣知事 大迫貞清

明治十一年二月

青島縣知事 大迫貞清

取付可也

青島縣知事 大迫貞清

青島縣知事 大迫貞清



青  
尚  
興

御筆に各郵便の便は復の便賃割増の事  
石五割或は同割の事區々相成は如一般  
之振合の事と但本年太政官より一  
就の事と經費の事と折柄の事と  
格外留留或は留留不致候合共別紙  
表向割合の如く改止致し度事  
来の月より改止の積金句  
馬諭律詩  
馬取纏の事と所相成の度  
事と所相成の度と又右改止  
事と所相成の度と又右改止

御筆に各郵便の便は復の便賃割増の事  
石五割或は同割の事區々相成は如一般  
之振合の事と但本年太政官より一  
就の事と經費の事と折柄の事と  
格外留留或は留留不致候合共別紙  
表向割合の如く改止致し度事  
来の月より改止の積金句  
馬諭律詩  
馬取纏の事と所相成の度  
事と所相成の度と又右改止  
事と所相成の度と又右改止

解  
制  
條



静岡県  
静  
山  
県

議方之度此任係了  
御合乃也

取進白長

十年三月廿八日

前島内務少輔

大進静岡縣令殿

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

各邦便司  
此山  
之島

取扱役

各邦便司督司留給金之候臨時縣官派  
出点查之節時トシテ  
即時其金負并帳簿  
引上シ  
其有之旨  
其隆縣官  
之公証  
事トテ  
取扱役於  
或ハ  
騙者等  
ノ疑團  
ヲ生ル  
哉  
之難計  
依テ  
自今  
縣官派  
出之節  
ハ必左  
之  
印章  
ヲ帶  
可  
シ  
致  
付  
ル  
ハ  
存  
見  
合  
豫  
メ  
印  
鑑  
領  
布  
此  
旨  
相  
達  
ス

静岡県  
系







青  
山  
集

歌  
集  
可  
長

十一日  
大  
道  
靜  
同  
野  
令  
殿

大  
道  
靜  
同  
野  
令  
殿

係  
下  
文  
部  
便  
箱  
置  
備  
代  
價  
之  
費  
之  
事  
申  
故  
之  
係  
之  
事  
申  
故

係  
下  
文  
部  
便  
箱  
置  
備  
代  
價  
之  
費  
之  
事  
申  
故  
之  
係  
之  
事  
申  
故

係  
下  
文  
部  
便  
箱  
置  
備  
代  
價  
之  
費  
之  
事  
申  
故

係  
下  
文  
部  
便  
箱  
置  
備  
代  
價  
之  
費  
之  
事  
申  
故

係  
下  
文  
部  
便  
箱  
置  
備  
代  
價  
之  
費  
之  
事  
申  
故

係  
下  
文  
部  
便  
箱  
置  
備  
代  
價  
之  
費  
之  
事  
申  
故

係  
下  
文  
部  
便  
箱  
置  
備  
代  
價  
之  
費  
之  
事  
申  
故

係  
下  
文  
部  
便  
箱  
置  
備  
代  
價  
之  
費  
之  
事  
申  
故

係  
下  
文  
部  
便  
箱  
置  
備  
代  
價  
之  
費  
之  
事  
申  
故

係  
下  
文  
部  
便  
箱  
置  
備  
代  
價  
之  
費  
之  
事  
申  
故

係  
下  
文  
部  
便  
箱  
置  
備  
代  
價  
之  
費  
之  
事  
申  
故

解  
詞  
系



青  
島  
縣

取  
道  
向  
長

十  
年  
四  
月  
十  
日  
青  
島  
內  
務  
之  
輔

大  
道  
靜  
岡  
縣  
令  
殿

（Faint, mostly illegible handwritten text in vertical columns, likely a letter or official document.)

郵  
便  
御  
見  
定  
表  
差  
之  
期  
限  
後  
ハ  
時  
違  
約

謝  
金  
ヲ  
命  
ス  
ル  
ノ  
方  
法  
別  
ニ  
通  
各  
邦  
便  
向  
ノ  
向  
ニ

相  
違  
係  
右  
者  
是  
迄  
之  
如  
ク  
唯  
督  
臣  
而  
已  
デ  
者  
自  
然

杜  
撰  
ノ  
流  
レ  
係  
甚  
有  
之  
實  
ニ  
統  
計  
上  
差  
支  
係  
場

合  
コ  
リ  
此  
方  
法  
ヲ  
設  
ケ  
係  
係  
有  
之  
然  
レ  
ハ  
凡  
萬  
一

此  
方  
法  
ニ  
觸  
ル  
時  
ハ  
悠  
然  
之  
次  
第  
ハ  
自  
御  
廳  
於  
テ

ニ  
能  
ク  
御  
示  
諭  
相  
成  
度  
を  
新  
開  
式  
ハ  
確  
地  
等  
ニ  
全

ク  
一  
體  
ノ  
仕  
方  
辨  
明  
不  
致  
事  
實  
無  
余  
係  
子  
情

有  
之  
介  
者  
ハ  
夫  
等  
之  
斟  
酌  
ヲ  
加  
シ  
實  
際  
ニ  
就  
テ  
高

解  
開  
條



青洲縣

宜之處分可及見込、有之修條御合書此  
段及御照會修知

取進司長

天明十年四月十日

大進藤岡縣令殿

御下地名改稱系合併等之義、白内務省、市  
上申書中別紙在邦便局地之條、合併之全村ヲ  
以一市内トシ邦便物配達ラシ可為取扱等、有  
之然ル所トシテ遠隔之村落ヲ合併編入  
相成修、居之ヲ一市入、細入修時、邦便物配  
達之際迷惑之ヲ所、有之故、難計、一應  
及御打合、系實地ヲ調定、上石可被答有之度  
此段及御照會修知

御下地名改稱系合併等之義、白内務省、市  
上申書中別紙在邦便局地之條、合併之全村ヲ  
以一市内トシ邦便物配達ラシ可為取扱等、有  
之然ル所トシテ遠隔之村落ヲ合併編入  
相成修、居之ヲ一市入、細入修時、邦便物配  
達之際迷惑之ヲ所、有之故、難計、一應  
及御打合、系實地ヲ調定、上石可被答有之度  
此段及御照會修知

取進司長

青洲縣



青島縣

十年四月十八日 青島縣內務少輔

大正縣同縣令殿

（Faint handwritten text, likely the main body of the document or a list of items.)

街並下伊豆國之内合保村之郵便物取違

方市内之組入之候之街同答之趣須事の

友之通各地之道一相傳、其其旨事之承之

度再答之候、及馬向知事

取違可也

十年五月四日 青島縣內務少輔

大正縣同縣令殿

之馬郵便可也

今般其之、之馬郵便可也、之馬郵便可也

青島縣







青田縣

馭進百長

內務部印信局啟

Faint vertical text columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.

御印鑑及受書印係若干或百九拾号ヲ以御回  
答之類ノ事印下

一 鈐木ノ配衛及鈐木文正印ノ可渡任免辭令  
合之漏全子入書狀取扱免許印鑑具令共  
貳番ノ入道ノ全同等ノ後ノ從前ノ漏ノ可心  
得事トモ 邦便ノ以御達ノ末夫ノ受書印中府  
諸器品及寫替金員請總ハ別紙甲乙按文  
ニ徴ニ存引綵印印鑑取之書差紙力之也

條制條



青田集

一 跡從終本範衛め替取扱方傳習之儀ハ四取  
扱後ヨリ方相發テ傳習之儀ハ前ヨリ生  
標傳津有之度

一 抵當物之類ハ内款相留之旨御後ヨリ存差  
出本書ハ芝縣ニ送附同本旨御後ヨリ  
存留扱想則テ九本之旨書ハ抄書文方保  
持之旨有之度

一 筆從終本範衛め替取扱方傳習之儀ハ四取  
扱後ヨリ方相發テ傳習之儀ハ前ヨリ生  
標傳津有之度

一 筆從終本範衛め替取扱方傳習之儀ハ四取  
扱後ヨリ方相發テ傳習之儀ハ前ヨリ生  
標傳津有之度

一 筆從終本範衛め替取扱方傳習之儀ハ四取  
扱後ヨリ方相發テ傳習之儀ハ前ヨリ生  
標傳津有之度

一 筆從終本範衛め替取扱方傳習之儀ハ四取  
扱後ヨリ方相發テ傳習之儀ハ前ヨリ生  
標傳津有之度

一 筆從終本範衛め替取扱方傳習之儀ハ四取  
扱後ヨリ方相發テ傳習之儀ハ前ヨリ生  
標傳津有之度

大正十一年四月

青田集



















内務省印刷局

静

岡

県

山形県下何国郵便線路里程合計ヲ以取調  
及街送致趣旨下田ノ凌ヲ經テ石井ニ至リ  
及松崎ノ市ノ瀬ヲ經テ同石井ニ至各局  
間内訳里程表ノ用ニ付申越ニ趣致並細別  
別紙ニ通知成ル存スル事ニ付此紙及  
馬西谷印也

高縣下何国郵便線路里程合計ヲ以取調

及街送致趣旨下田ノ凌ヲ經テ石井ニ至リ

及松崎ノ市ノ瀬ヲ經テ同石井ニ至各局

間内訳里程表ノ用ニ付申越ニ趣致並細別

別紙ニ通知成ル存スル事ニ付此紙及

馬西谷印也

十月九月

静岡縣令大迫貞清

郵便局長

印刷局内務少輔殿



静岡県

下田より浅野 二里拾八丁

浅野より石井迄 一里拾丁

合程 三里拾八丁

松崎より市ノ郷迄 一里

市ノ郷より石井迄 一里拾丁

問 合程 三里拾八丁

又 市ノ郷より石井迄 一里拾丁

又 市ノ郷より石井迄 一里拾丁

高井より市ノ郷迄 一里拾丁

明治十年徴兵簿

奥八丈区一十区中村農

忠四郎 男

鈴木忠吉

日向三島宿長谷町雑業

平次郎 男

川口 隆 十口

日向三島宿長谷町雑業

忠助 男

笹川 幸右 二口

日向三島上村本付農

和平 男

芥沢 孫 七

日向三島江利木村農

喜六郎 男

解 用 係



静岡県

大川喜七

同日木負村農  
吉田即沙男

齋藤弥之助

同日三原村農  
吉右衛門

瀬川半三郎

同六小區修善寺村農  
吉重

平田辰次郎

同十小區仁田村農  
吉友之門三男

石井文助

同日来原村農  
三小區之男

木林磯五郎

同日五井村農  
新太郎

杉崎徳次郎

同八小區中村農  
勝次郎

栗原政藏

同九小區菅野村農  
千代

杉原莊吉

同同大野村農  
十郎

後藤逸作

同十小區湯島村農  
長太郎

糸川



青田金藏

浅田金藏

莫九大區一十區下多賀村農  
作之郎

渡辺多之郎

同日 細代村雜業  
倉藏

辻野伊三郎

同日 二才區川太才村農  
勝五郎

杉山高次郎

同日 四才區八幡野村農  
久立郎

相良之四吉

同日 田村雜業  
理之郎

太田伊勢松

同日 五才區見高村雜業  
善六郎

土屋由藏

同日 六才區宇土全村農  
兵左郎

鈴木熊藏

同日 七才區本御村雜業  
男助

渡邊象吉

同日 白濱村農  
源次郎

金指銀藏

同日 下田紺屋町高  
金兵衛

峰田孫



靜岡縣

鈴木吉松

同 同下田大工所雜業  
七次郎次男

小川定吉

同 同 同 同  
同 同 同 同  
同 同 同 同

土屋菊藏

同 同 同 同  
同 同 同 同  
同 同 同 同

小山喜之助

同 同 同 同  
同 同 同 同  
同 同 同 同

進士重次郎

同 同 同 同  
同 同 同 同  
同 同 同 同

鈴木寅吉

同 同 同 同  
同 同 同 同  
同 同 同 同

長田政吉

同 同 同 同  
同 同 同 同  
同 同 同 同

渡邊常實

同 同 同 同  
同 同 同 同  
同 同 同 同

小川直藏

同 同 同 同  
同 同 同 同  
同 同 同 同

佐々藤徳太郎

同 同 同 同  
同 同 同 同  
同 同 同 同

靜岡縣



長島紋次郎

司司司村農  
政吉二男

藤井六右衛門

司司司村農  
傳十郎

高橋清藏

司司司子行農  
勇吉二男

藤井清藏

司司司村農  
文吉

菊池林吉

國之長

昨九年分地租令收入期限歩漏一多存る事  
追及存違之由地租改正調査中子特別  
之詮義より別紙歩合之内納る事  
一、条地租改正整頓の上陳一積多弁免納  
之積多弁免納歩合斗算弁納入條津處分  
等し候に最可相済し可心得此旨布  
津浪

明治十年八月十日 藤岡縣之大正倉庫司

年月系



青島縣

明治九年地租全收納期限割

第一期 九年七月一日より 九年七月三十一日まで 全額 半歩同

内

第一節 十月一日より 八月三十一日まで 半数

第二節 八月一日より 九月三十日まで 同上

第二期 九年十月一日より 十年三月三十一日まで 六十分同

内

第一節 十月一日より 十月三十一日まで 七十分同

第二節 十一月一日より 十一月三十一日まで 八十分同

第三節 十二月一日より 十二月三十一日まで 九十分同  
第四節 一月一日より 一月三十一日まで 同上  
一 地租改正教正額海内各三十分同張額  
二 同

第五節 二月一日より 二月三十一日まで 同上

年月系



静岡縣  
静岡縣  
静岡縣

Vertical columns of faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

番外

伊豆國村々

明治十一年正月本縣中第一百二十六號田租預り不  
取扱手續書第二條相場之候確定より上追り  
可相場公布律及農ノ商伊豆國平均相場上本  
堂石子全四圓八拾七錢五厘、相定候条此公布  
律  
但願出期限ノ候更、本月廿五日迄延期ナリ  
明治十一年一月四日。 静岡縣令大道貞清

争司系



番外

明治十年十一月本縣甲第百二十五號地租代不納心  
得書第一條相場之後追了可相違旨布  
達及置係處伊國之係、米吉石付全五回  
四錢、相定係条此旨布達係

但願出期限之後去十二月二十五日迄延期及  
置係如更、本月二十五日迄、延期致

明治十年一月四日 靜岡縣令大向愈清

丙亥六條

方今地理局、於三間東八別之南、測量、修し事  
業之都合より、其縣管内、之推及し  
且、測量見通し、銀、竹木等、枝打或、伐  
採係後、可有之、筋、民有、出際、官買、  
該、主、之、事、決、直、處、分、之、有、其、上、廳、之、高  
議、之、上、處、合、可、為、約、条、紙、之、  
之、事、計、此、旨、布、達、

十一月二日

内務卿大久保利通





青  
田  
果

此書之旨... 內政物大... 諸事... 其... 且... 而... 六... 端...



